



大野城心のふるさと館

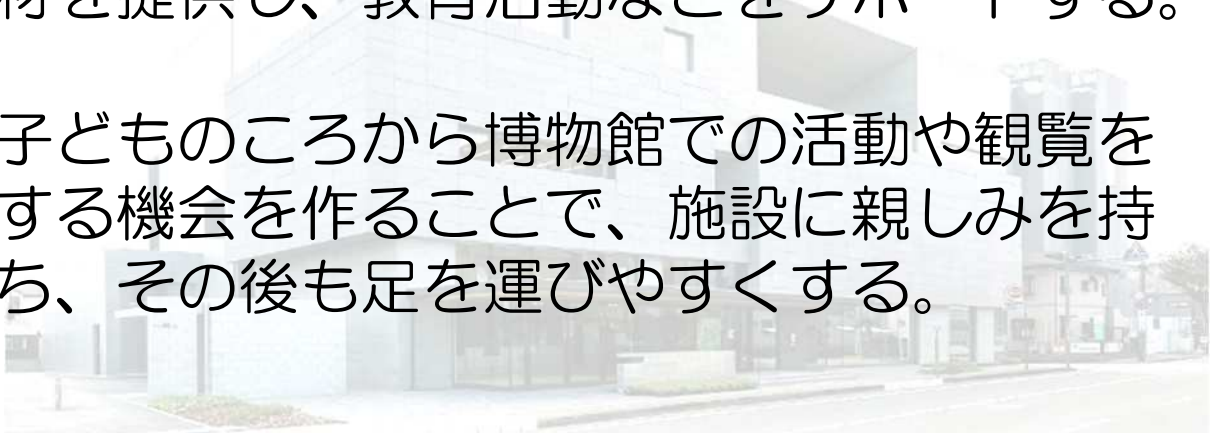
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

学校連携事業の 実施状況について



事業の趣旨

- ◆心のふるさと館の展示・収蔵品などの資源、体験型事業を活かした学習プランや学習教材を提供し、教育活動などをサポートする。
- ◆子どもたちから博物館での活動や観覧をする機会を作ること、施設に親しみを持ち、その後も足を運びやすくする。



事業概要

1. 対象者 小中学校（小学3年生以上）

2. 対象教科 総合的な学習や社会科

※対象者は市内・市外を問わない。

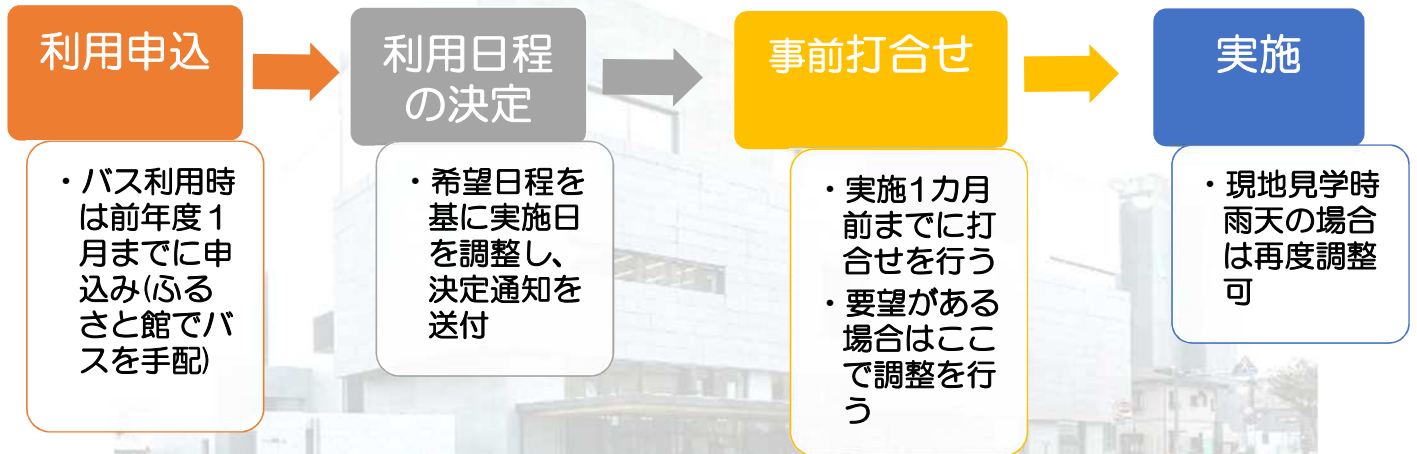
※学校のニーズに合わせて、学習プランを作成し、ワークシートなどの学習教材を活用し、実施する。

※利用単元の学習プラン及び学習教材はホームページで閲覧・ダウンロードができる。

利用単元

	単元名	学年	科目	館内学習
小学校				
1	私たちの大野城市	3学年	社会科	3時間
2	昔の道具	3学年	社会科	3時間
3	大野城市の発展につくした人	4学年	社会科	3時間
4	大昔のくらしと国の統一	6学年	社会科	3時間
5	山城のすばらしさをPRしよう	5・6学年	総合的な学習の時間	3時間
中学校				
1	日本史～近代～		社会科（歴史）	2時間
2	地方自治に関する発展的学習		社会科（公民）	2時間
3	地域の歴史を探る		総合的な学習の時間	

事業実施の流れ



事業実施例 昔の道具(第3学年)

1 学習のねらい

- 昔の道具やそれらを使っていた頃の暮らしの様子について調査や見学をしたり、年表などにまとめたりして人々の生活の変化や生活における人々の知恵や工夫を考えさせる。
- 昔の道具を観察したり、道具の使い方を調べたりして当時の暮らしの様子を考えさせる。

事業実施の様子



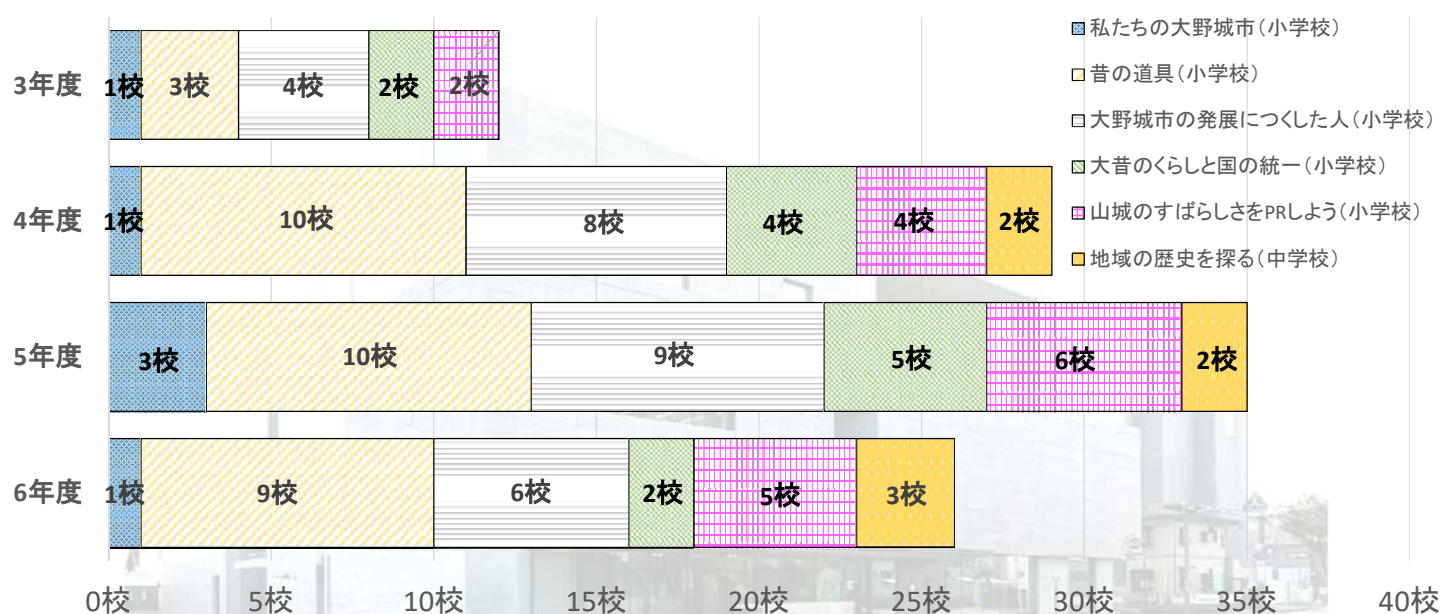
事業実施の様子



事業実施の様子



事業実績(直近3年)と令和6年度事業予定



※令和6年度は、小学校は10校中10校、中学校は5校中3校(大野東中、平野中、御陵中)実施予定。

令和5年度における課題と取組

課題

中学校の利用が少ないため、中学校全校の利用を目指す取組が必要。

令和5年度に実施した取組

学校連携事業のチラシを作成し、全小中学校の担当教諭全員(※)へ配布・個別説明することにより学校連携事業の周知を図り、中学校の利用校増加を目指した。

結果

令和6年度中学校1校利用増

※対象者：市内小中学校担当教諭
(小学校：第3学年～第6学年)
(中学校：第1学年～第3学年)

学校連携事業 配布チラシ

大野城心のふるさと館

小学校用

学校連携事業

学校連携事業とは・・・

ふるさと館が市内小中学校と連携し、館の展示や事業を活用して教育活動をサポートする事業のこと。

1 小学校社会科や総合的な学習の時間で活用できます。

【活用できる教科・単元】

展示名	学年	教科	単元
1 筑紫のふるさと館	第3学年	社会科	2時間単元
2 昔の道具	第3学年	社会科	2時間単元
3 大野城の歴史と文化	第4学年	社会科	2時間単元
4 大野城のくらしと文化	第5学年	社会科	2時間単元
5 山崎のくらしと文化	第6学年	総合的な学習の時間	2時間単元

2 史跡の現地見学も可能です。

【大野城跡見学の例】

時間	見学コース
9:30	大野城跡センター見学・静寂堂
9:40～10:50	大野城跡センター→大野城跡門跡→大野城跡門跡→大野城跡門跡
11:00	大野城跡センター見学

- 館内での学習と水城跡・大野城跡の見学ができます。
- 史跡見学ではガイドによる説明があります。

3 送迎バスの利用もできます。

- バス利用の費用の全額を心のふるさと館が負担します。
※館内および大野城・水城跡見学での利用に限りません(他施設の見学を含む場合は対象外となります)。
※バス利用は2車線のみに限ります。
※観光シーズンの10～11月はバスの平配が困難な場合があります。

【お問い合わせ・お申込み先】

市民ミュージアム 大野城心のふるさと館
〒816-0934 福岡県大野城市南町3-8-3
TEL:092-558-5000 / FAX:092-558-2307
Eメール: cocofun@city.onojo.fukuoka.jp
担当 今村・佐藤

詳しい内容は
こちらから



大野城心のふるさと館

中学校用

学校連携事業

学校連携事業とは・・・

ふるさと館が市内小中学校と連携し、館の展示や事業を活用して教育活動をサポートする事業のこと。

1 中学校社会科や総合的な学習の時間で活用できます。

【活用できる教科・単元】

展示名	学年	教科	単元
6 日本史～古代～	第3学年	社会科(歴史)	2時間
7 大野城跡の歴史と文化	第4学年	社会科(歴史)	2時間
8 大野城跡の歴史と文化	第5学年	総合的な学習の時間	2時間

2 史跡の現地見学も可能です。

【大野城跡見学の例】

時間	見学コース
9:30	大野城跡センター見学・静寂堂
9:40～10:50	大野城跡門跡→大野城跡門跡→大野城跡門跡
11:00	大野城跡センター見学

- 館内での学習のあと、水城跡・大野城跡の見学ができます。
- 歴史の授業進度にあわせた活用で、地域・授業内容の理解を深めることができます。
- 史跡見学ではガイドによる説明があります。

3 送迎バスの利用もできます。

- バス利用の費用の全額を心のふるさと館が負担します。
※館内および大野城・水城跡見学での利用に限りません(他施設の見学を含む場合は対象外となります)。
※バス利用は2車線のみに限ります。
※観光シーズンの10～11月はバスの平配が困難な場合があります。

【お問い合わせ・お申込み先】

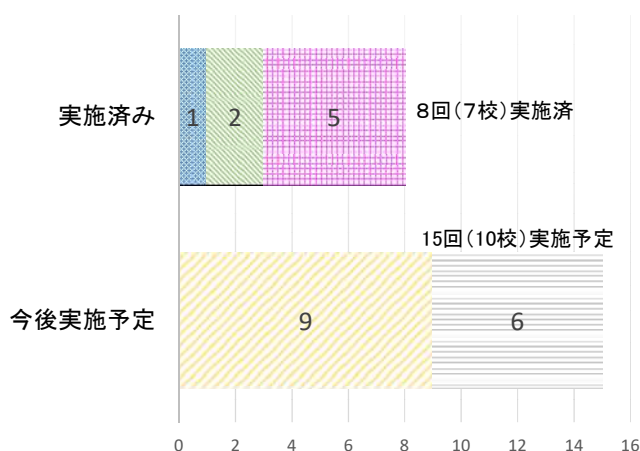
市民ミュージアム 大野城心のふるさと館
〒816-0934 福岡県大野城市南町3-8-3
TEL:092-558-5000 / FAX:092-558-2307
Eメール: cocofun@city.onojo.fukuoka.jp
担当 今村・佐藤

詳しい内容は
こちらから

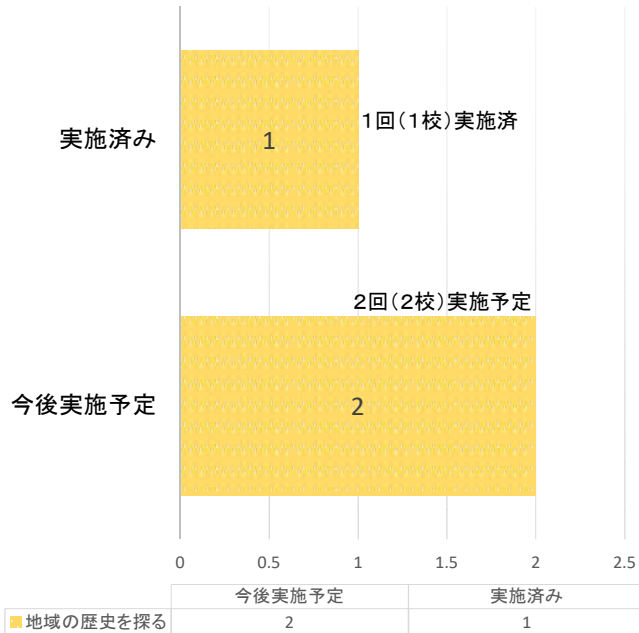


令和6年度の事業実施状況(令和6年9月末時点)

小学校



中学校



	今後実施予定	実施済み
私たちがの大野城市	0	1
昔の道具	9	0
大野城市の発展につくした人	6	0
大昔のくらしと国の統一	0	2
山城のすばらしさをPRしよう	0	5

※令和6年度は、小学校は10校中10校、中学校は5校中3校(大野東中、平野中、御陵中)実施

今後の課題と対策

【課題】

- ◆コロナ禍を経て、学校教育環境等が変化してきており、現在の学校現場のニーズの把握が必要(教育委員会との連携)
- ◆全中学校に利用してもらうために、学社連携への理解や本事業の有効性を理解してもらう対策が必要

【対策】

- ◆小中学校担当教諭との議論の場を設け、利用単元や学習プラン・教材等について再検討し、学校・心のふるさと館双方にとって最適な事業展開を図る
- ◆学校現場のニーズに応じて、中学校にも利用しやすい事業内容や教育環境の提供について検討を行う

現状における対応状況

- ◆教育支援課と今後の方向性について協議を行った。
- ◆小学校については、伝統的な社会科の研究校である大野北小学校担当教諭と個別に協議を行い、利用単元や学習プラン、教材等について検討を進めている。
- ◆中学校5校の内、今年度利用がない中学校へ直接連絡を行い、次年度以降の利用について主幹教諭と協議を進めている。

